

目標達成計画

作成日: 平成 22年 3月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	グループホームの理念が職員全員には浸透していない為、理念の共有が出来ていない。	「尊厳を大切にし、家庭的な雰囲気です入所者の個性を活かし、介護しながら日常生活の支援を行ないます。」という理念を全職員で共有し、実践につなげていく。	・毎朝の申し送り終了後に、理念を唱和する。 ・日々の関わりや個別のケアカンファレンスを通じて、利用者の個性を知り、活かす方法を考える。	3ヶ月
2	36	利用者を「〇〇ちゃん」と呼ぶ職員もおり、敬語も徹底されずに、言葉遣いが乱れてしまう場面がある。	利用者への「〇〇さん」付けでの声掛けや敬語での対応を徹底する。	・利用者だけでなく、職員間も「〇〇さん」付けで呼び合い、意識を高める。 ・言葉遣いの乱れを職員間で指摘し合い、反省し改善していく。	3ヶ月
3	49	普段行けないような場所への個別の外出支援に力を入れているが、最近頻度が減ってきている。	利用者本人の希望する普段行けないような場所への外出支援を行なう。	・1ヶ月に2～3名は個別のニーズに合わせた外出計画を立案・実行する。他にもグループ単位の外出支援も行なう。	10ヶ月
4	4	・運営推進会議が2ヶ月毎に開催出来ていない。 ・民生委員や自治会役員は多忙の為、2ヶ月に1回の参加は難しい。	運営推進会議を2ヶ月に1回開催する。	・民生委員や自治会役員以外の地域の方々に広く参加を呼びかけて、登録参加者の数を増やす。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。